

岩手県感染症週報

平成29年第40週（10月2日～10月8日）

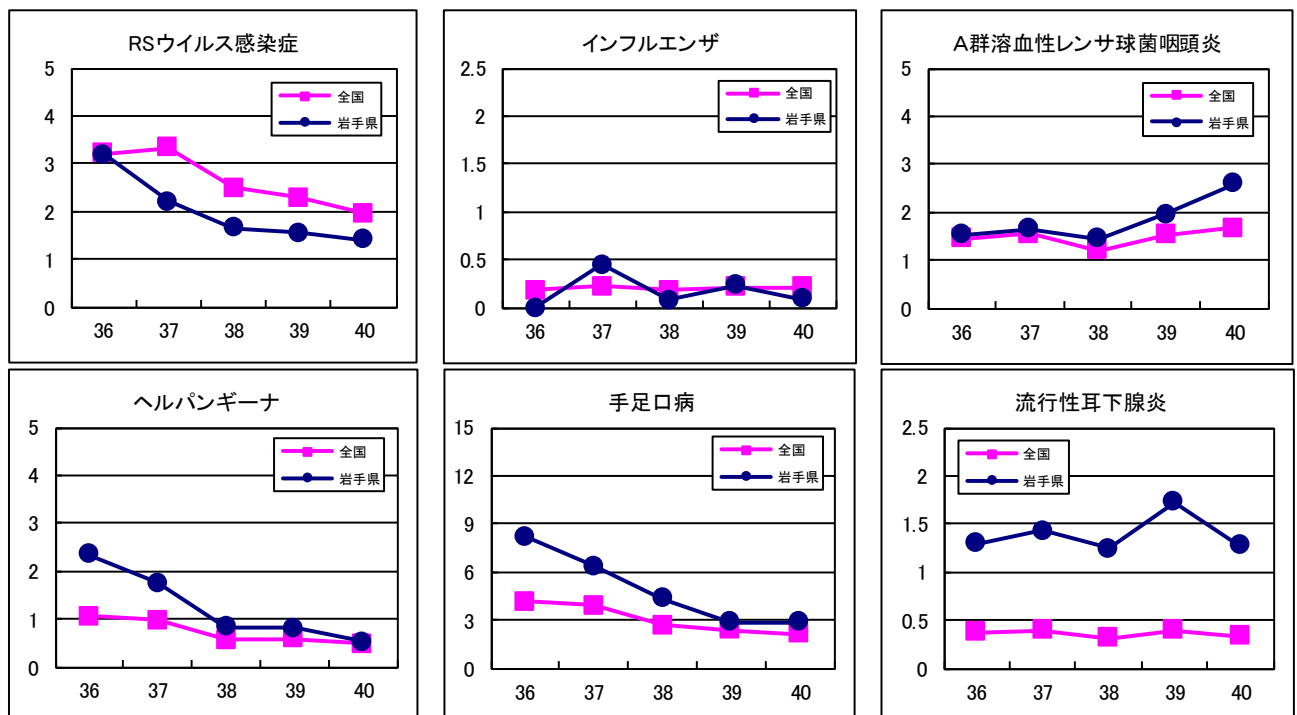
岩手県感染症情報センター

第40週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核 の報告が6例ありました。このうち潜在性結核感染症の報告は4例です。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が奥州地区から29例、盛岡市から3例、計32例ありました。今年の総報告数は144例になりました。奥州地区においてO111の集団感染事例が報告されています。感染力が強いので注意が必要です。主な症状は腹痛や下痢、血便ですが、腎不全や脳症などを引き起こす場合もあります。食中毒予防対策の徹底と、石けんと流水による手洗いでヒトからヒトへの二次感染を防ぐことが重要です。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症の報告が宮古及び中部地区からそれぞれ1例ありました。患者はどちらも70歳代の男性です。9月下旬からこれまで6例報告されています。レジオネラ属菌という土壌や水環境に存在する細菌による呼吸器感染症です。人から人への感染はなく、吸い込んでも発症はまれですが、高齢者や糖尿病などの基礎疾患のある方は注意が必要です。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
 - ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
 - ・溶連菌咽頭炎は前週より増加しました。主な症状は発熱や全身倦怠感、咽頭痛ですが、肺炎や腎炎などを引き起こす場合もあります。手洗いとうがいの励行と、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2013年第42週より感染性胃腸炎（ロタウイルス）が定点把握対象疾患となりました。

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		36	37	38	39	40		
インフルエンザ	岩手県	0	0.45	0.08	0.23	0.09	→	
	全国	0.18	0.22	0.18	0.21	0.21		
RSウイルス感染症	岩手県	3.18	2.2	1.65	1.55	1.4	→	☆
	全国	3.21	3.34	2.49	2.28	1.95		
咽頭結膜熱	岩手県	0.28	0.18	0.1	0.15	0.13	→	☆
	全国	0.51	0.46	0.38	0.41	0.44		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.53	1.65	1.45	1.95	2.6	↗	☆
	全国	1.45	1.54	1.2	1.53	1.67		
感染性胃腸炎	岩手県	2.3	2.28	1.83	1.5	2.35	↗	☆
	全国	3.32	3.29	2.6	3.08	3.15		
水痘	岩手県	0.13	0.2	0.18	0.1	0.13	→	☆
	全国	0.2	0.2	0.2	0.24	0.23		
手足口病	岩手県	8.23	6.38	4.35	2.83	2.83	→	☆☆
	全国	4.17	3.88	2.67	2.36	2.12		
伝染性紅斑	岩手県	0.3	0.2	0.18	0.43	0.28	→	☆
	全国	0.06	0.06	0.04	0.06	0.04		
突発性発疹	岩手県	0.3	0.53	0.4	0.45	0.38	→	☆
	全国	0.48	0.45	0.38	0.44	0.42		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.08	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	2.35	1.75	0.83	0.8	0.53	→	☆
	全国	1.06	0.97	0.56	0.58	0.49		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.3	1.43	1.25	1.73	1.28	↘	☆
	全国	0.37	0.39	0.31	0.39	0.33		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.21	0.36	0.29	0.21	→	☆
	全国	0.98	1	0.85	1.05	0.85		
細菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.16	0.16	0	0	0.05	→	
	全国	0.08	0.05	0.04	0.05	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.42	0.58	0.42	0.84	0.53	→	☆
	全国	0.27	0.32	0.3	0.36	0.32		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0.11	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0	0.01		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	岩手県	0.05	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0	0.01	0.01		
インフルエンザ（入院患者） ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	0	1		
	全国	16	13	12	23	23		

【流行傾向の見方】

無印：ほとんど患者が発生していません

☆：患者が発生しています

☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります

☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		36	37	38	39	40		40	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	5 (4)	10 (9)	5 (4)	6 (1)	6 (4)	170 (82)	324	17325
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	1	0	7
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	3	120
	腸管出血性大腸菌感染症	11	0	1	1	32	144	86	3313
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	30
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	13
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	2	3	247
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	2	4	225
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	22
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	10
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	2	7
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	3
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	6	81
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	0	3	1	114
	デング熱	0	0	0	0	0	0	7	202
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	7	263
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	1	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	46
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	18
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	1	0	0	1	2	15	28	1313
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	29
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県						全国	
		(週) 36	37	38	39	40	累計	40	累計
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	7	18	829
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	2	2	223
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	0	0	0	0	12	19	1238
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	9	540
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	9
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	154
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	3	6	426
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	2	12	1049
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	46
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	2	4	280
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	20
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	12	27	2457
	水痘（入院例）	0	0	0	0	0	5	5	229
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	0	0	0	11	61	4345
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	2	100
	破傷風	0	0	0	0	0	1	2	103
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	62
	風しん	0	0	0	0	0	0	1	70
	麻しん	0	0	0	0	0	0	5	185
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	18

今注目の感染症

RSウイルス感染症

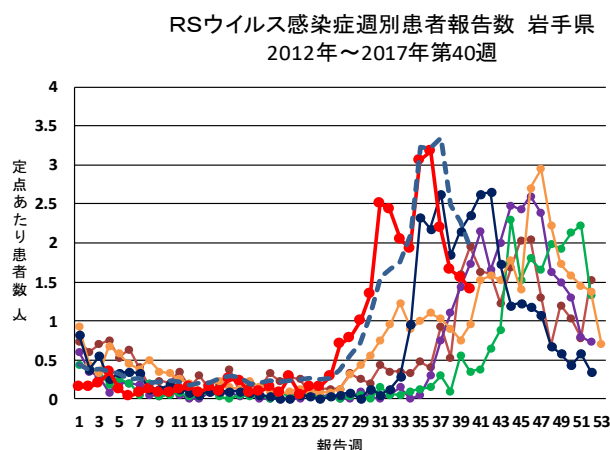
RSウイルス感染症は、RSウイルス（Respiratory Syncytial Virus）による呼吸器の感染症です。1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、初めて感染発症した場合は重くなりやすいといわれています。特に乳児期早期（生後数週間～数か月間）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

岩手県では第36週の県全体の定点あたり患者数が3.18人となり、平成18年の調査開始以来最多の報告数となりました。第40週の県全体の定点あたり患者数は1.40人となりました。減少傾向ですが、例年は秋から冬にかけて流行するので、引き続き注意が必要です。

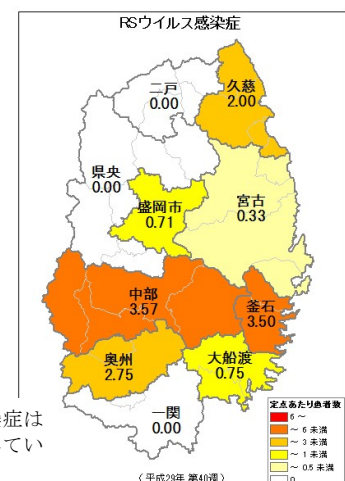
感染経路は主に飛沫感染と接触感染です。手洗いや咳エチケットをはじめとした基本的な予防対策が重要です。

参考 RSウイルス感染症Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html



※RSウイルス感染症は
警報値が定められてい
ません



今注目の感染症（つづき）

手足口病

手足口病は、口の中や手足に現れる（水疱性の）発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行します。3～5日間の潜伏期間の後、口の中、手のひらや足などの四肢末端に2～3mmの水疱性発疹が出現し、ときに肘、膝、臀部などにも出現することがあります。病原ウイルスは、主にA群コクサッキーウイルス16型や6型、エンテロウイルス71型です。岩手県ではA群コクサッキーウイルス6型が多く検出されています。

基本的には数日の内に治癒する予後良好の疾患ですが、まれに髄膜炎や小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症を引き起こす場合があります。頭痛、嘔吐、高熱等が続く場合は医療機関を受診することが勧められます。

2017年の岩手県は第33週に県全体の定点あたり患者数が5.70人となり、警報値（定点あたり患者数5人）を超え、第35週には10.40人まで増加しました。第40週の県全体の定点あたり患者数は前週と変わらず、2.83人でした。宮古地区では警報値を超えているので、引き続き注意が必要です。

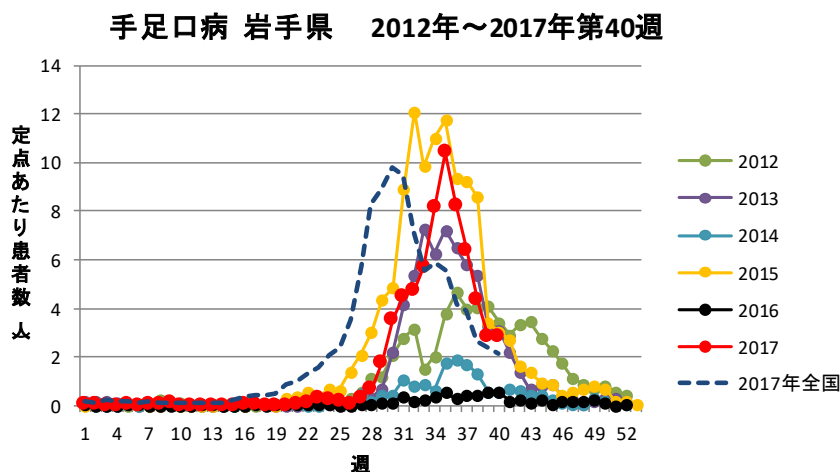
感染経路は飛沫感染と接触感染のほか、便中にもウイルスが排出されるため、手指を介した経口感染もあります。感染を防ぐために、手洗いをしっかり行うこと、患者との濃厚接触やタオルの共用を避けることが重要です。

参考 国立感染症研究所

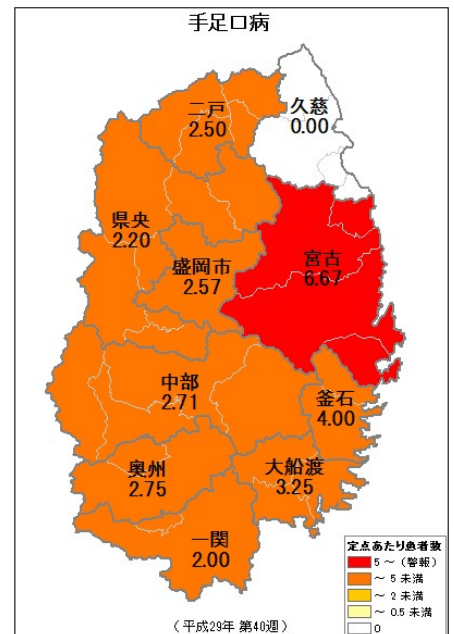
手足口病とは <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>

IDWR 2017年第28号＜注目すべき感染症＞ 手足口病

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/hfmd-m/hfmd-idwrc.html>



岩手県における手足口病の定点あたり患者数（2012年～2017年第40週）及び全国の定点あたり患者数（2017年第1週～第39週）
岩手県内では2013年と2015年に流行した。



岩手県 第40週

今注目の感染症（つづき）

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素（Vero toxin = VT, またはShiga toxin = Stxとも呼ばれる）を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症です。症状は、無症状から軽度の下痢、激しい腹痛、頻回の水様便、著しい血便と様々です。さらに、溶血性尿毒症症候群の腎不全や脳症など、重篤な合併症を引き起こす場合もあります。

2017年第40週は、奥州地区から29例、盛岡市から3例、計32例の報告がありました。2017年の報告数の合計は144例となりました。奥州地区においてO111の集団感染事例が報告されています。

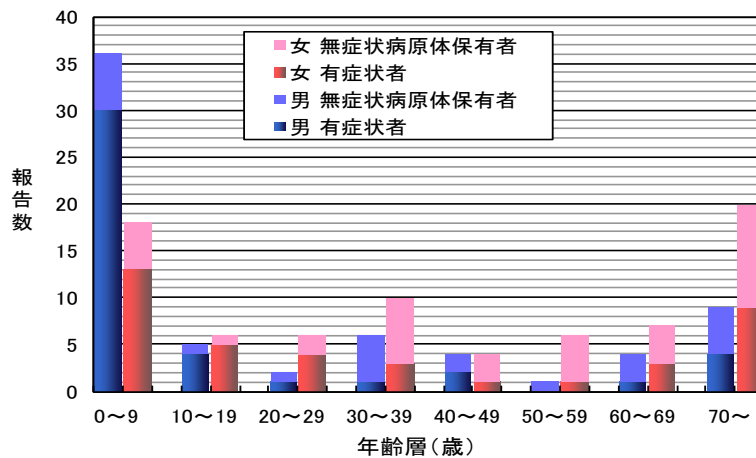
原因となった大腸菌は、O26が68例、O111が35例、O157が25例、O121が8例、O103が1例、O136が1例、O145が1例、O血清型不明が5例でした。年齢層別では、0～9歳が最も多く54例、次いで70歳以上で29例でした。

予防対策としては、食中毒予防の3原則（食中毒菌をつけない、増やさない、やっつける）を徹底し、生肉や加熱不十分な食肉を食べないことが重要です。また、ヒトからヒトへの二次感染を防ぐため、食事の前やトイレの後などには石けんと流水による手洗いを行うことが重要です。

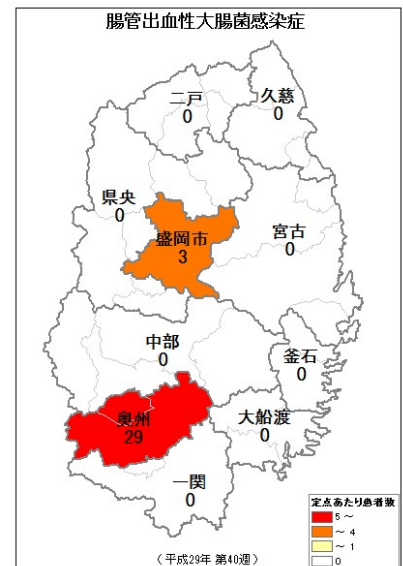
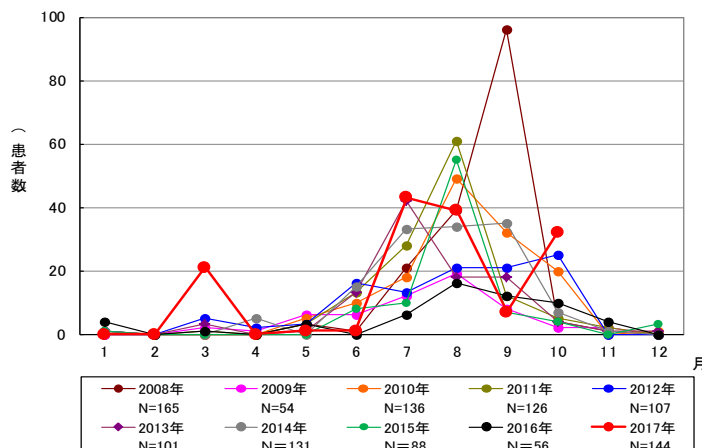
参考 国立感染症研究所

腸管出血性大腸菌感染症とは <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/439-ehc-intro.html>

腸管出血性大腸菌感染症の報告数、岩手県
性・年齢・症状の有無別、2017年第40週、N=144



腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数
(岩手県2008年～2017年)



岩手県 第40週
(※腸管出血性大腸菌感染症
は全数報告)

病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

集団感染情報

○腸管出血性大腸菌（^{オー}O111）感染症の集団発生について

奥州保健所管内の幼稚園（園児44名、職員13名）

- ・9月30日（土）に園児1名の発生届
- ・10月5日（木）までに16名（園児15名、家族1名）から腸管出血性大腸菌O111を確認
- ・16名中、有症者は10名、無症状病原体保有者は6名

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

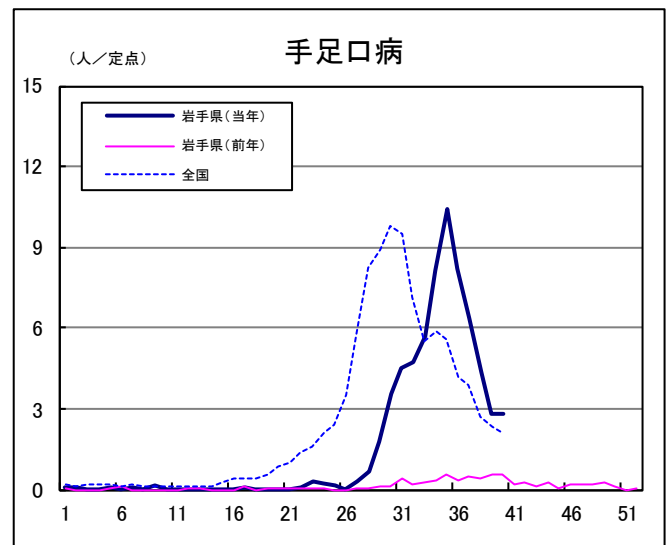
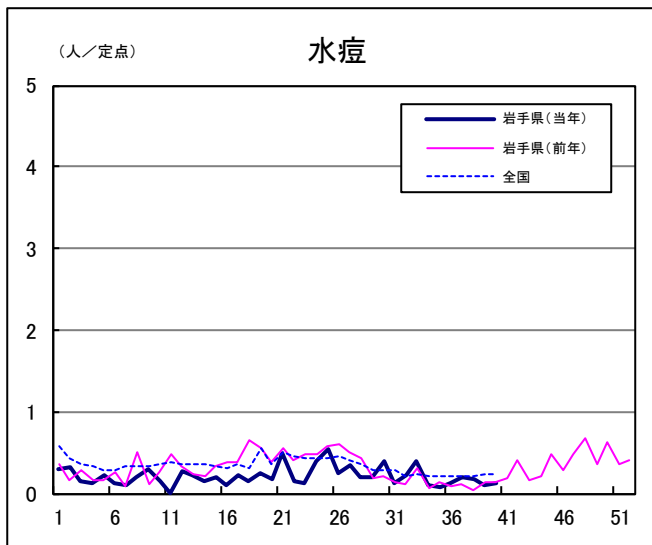
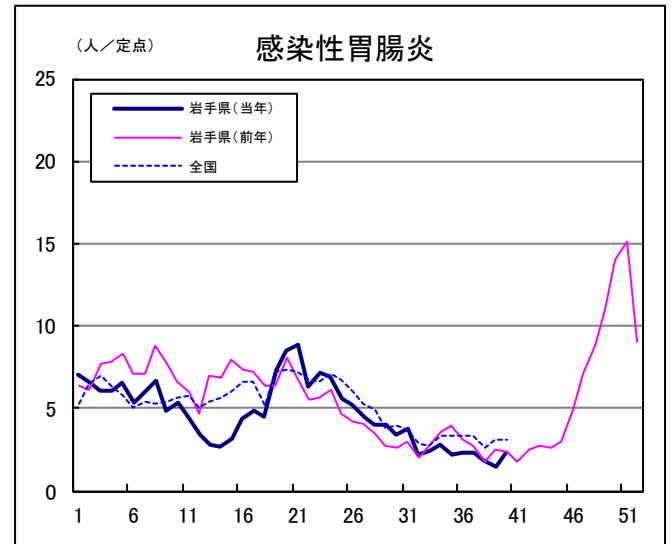
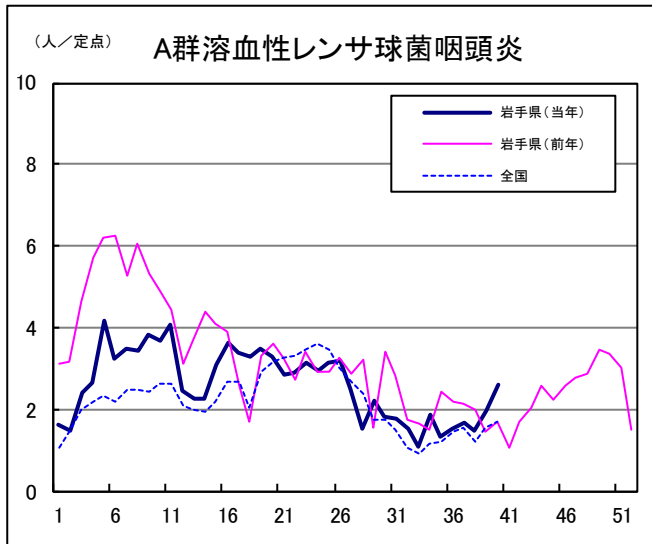
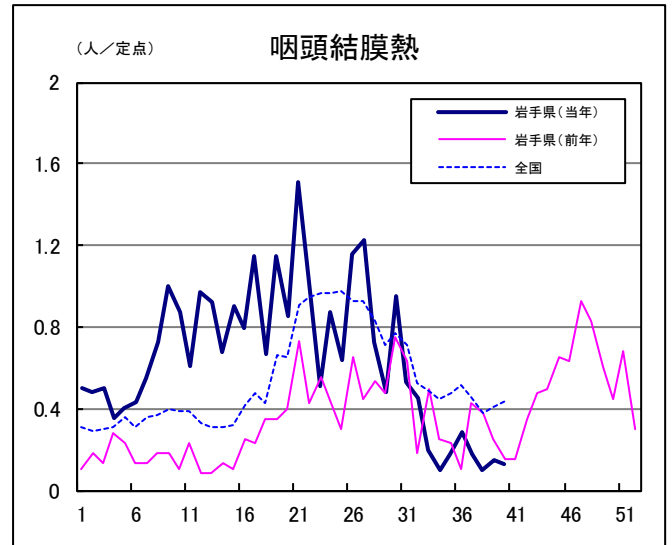
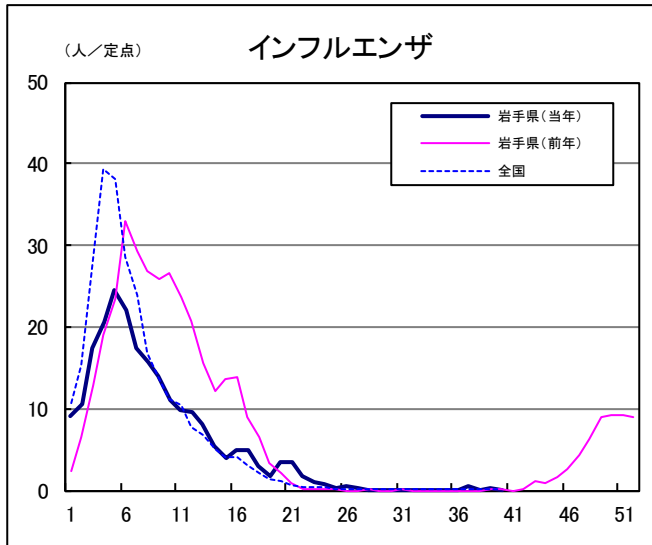
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

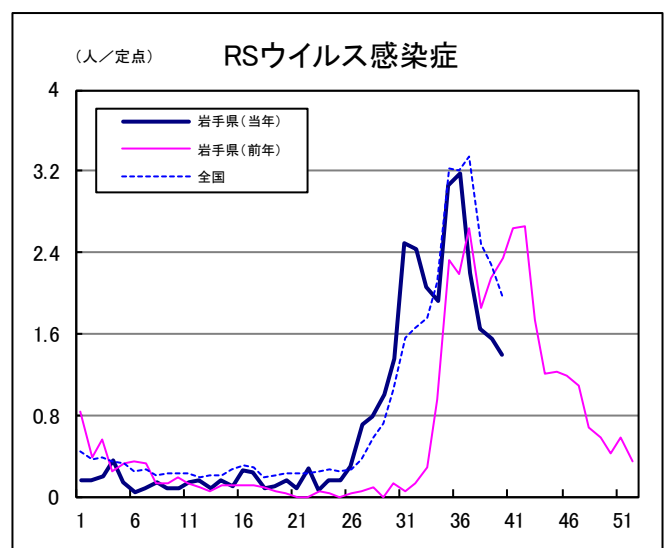
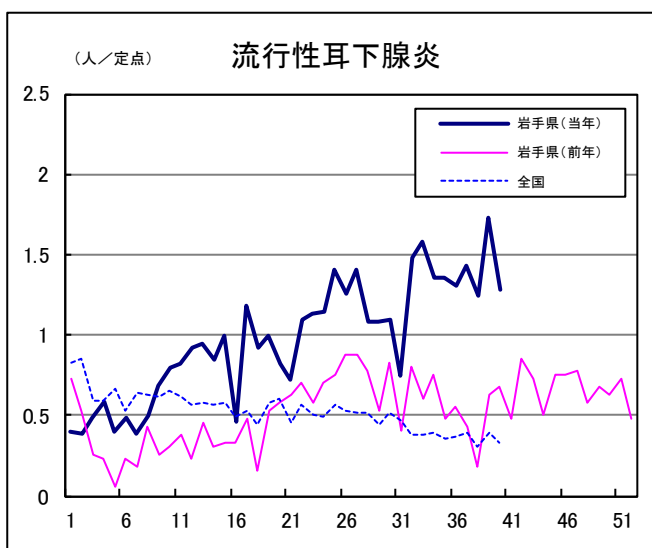
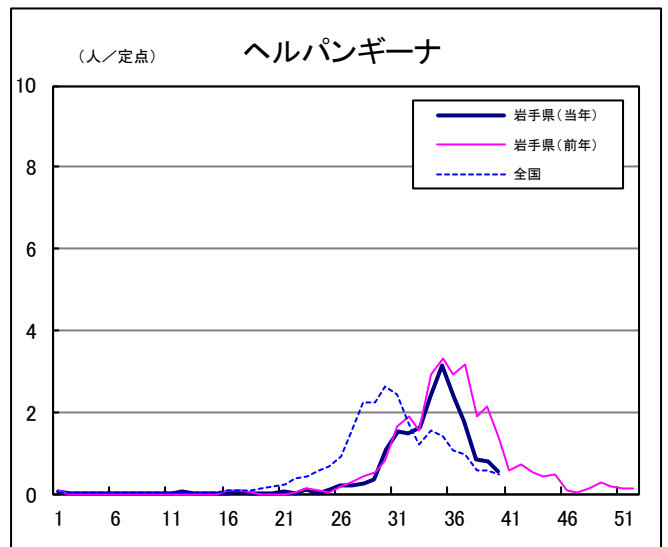
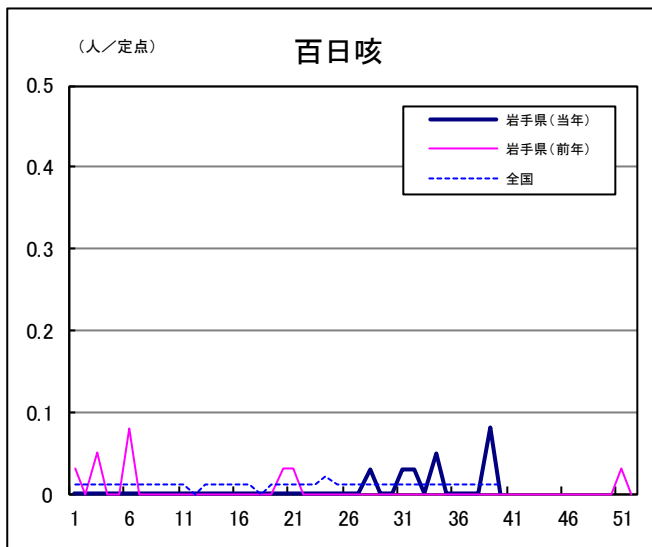
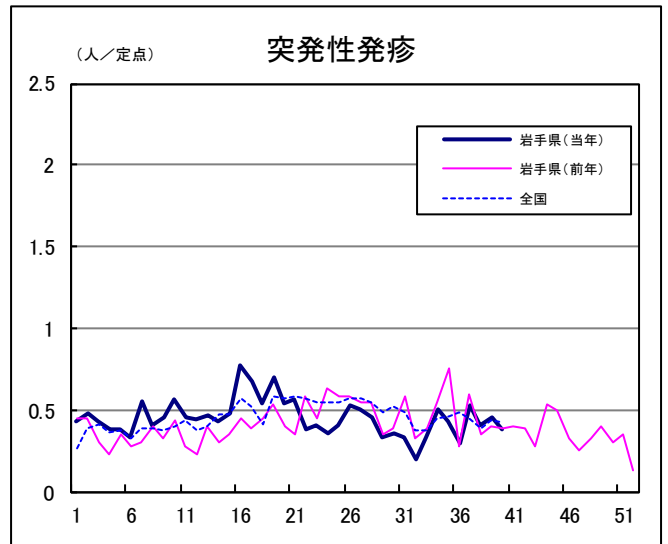
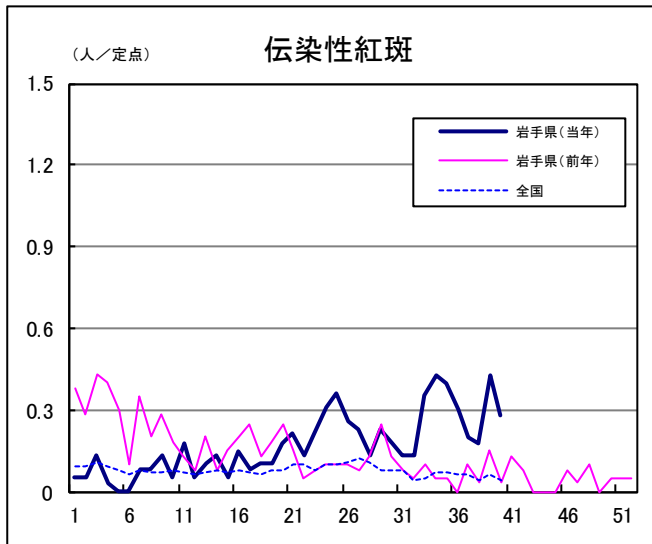
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

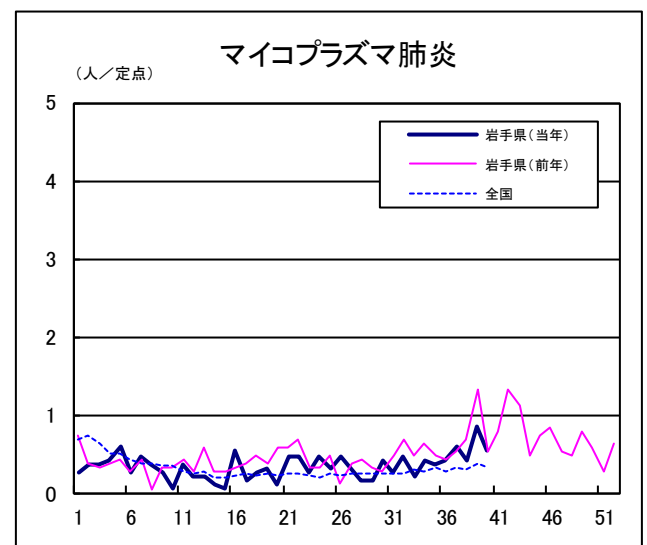
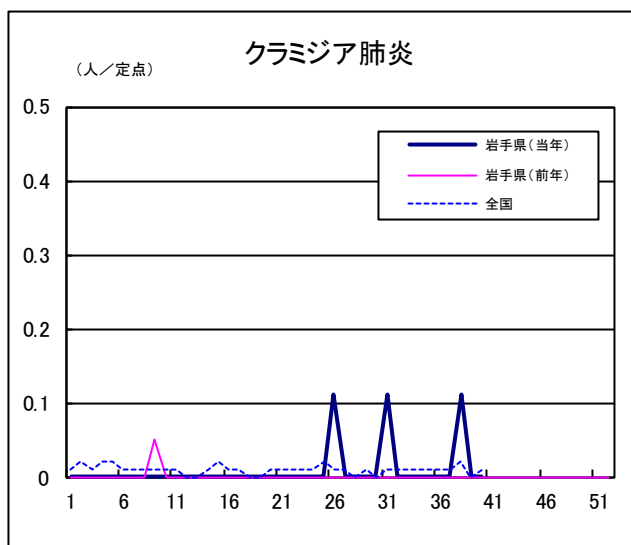
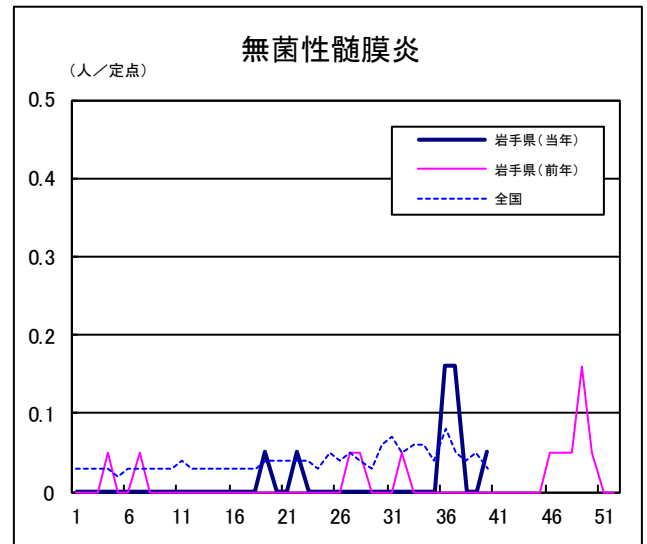
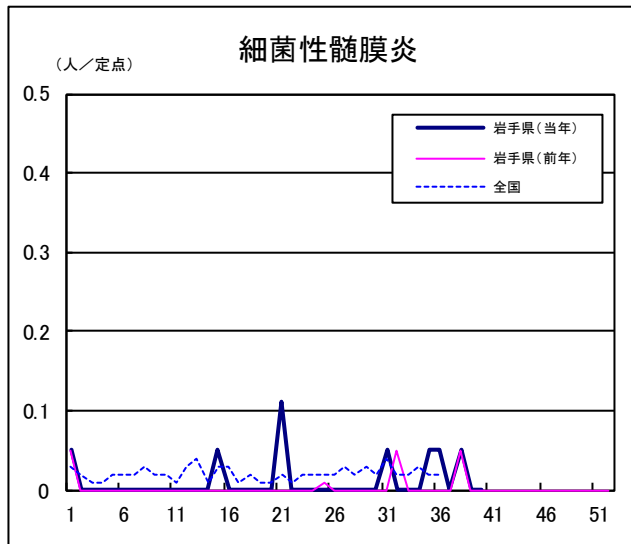
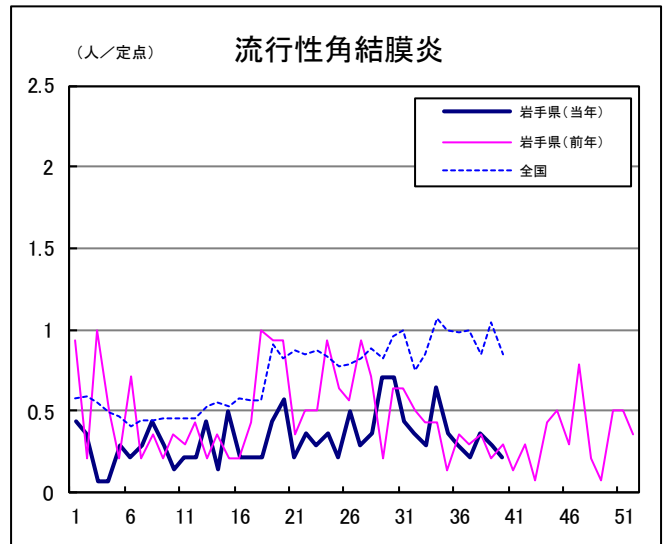
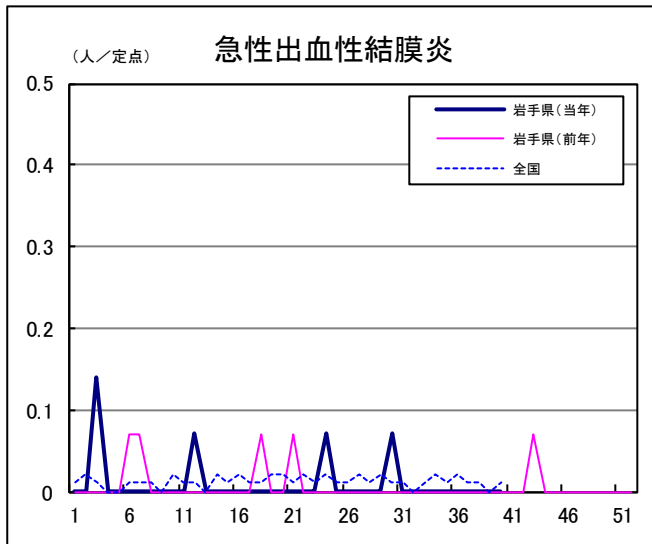
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成29年第40週 平成29年10月13日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryou/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>